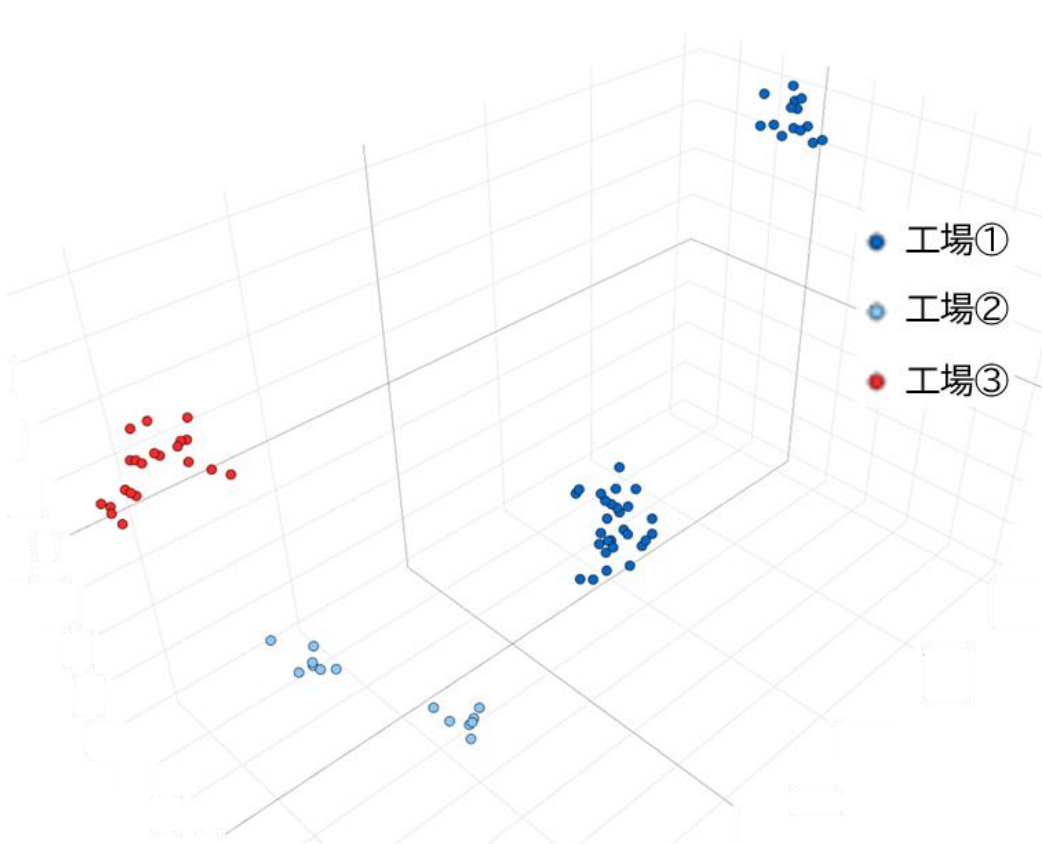
「知財のプロ」がご紹介するNIMS最新技術

リサイクルプラスチックのトレーサビリティ技術

-リサイクルプラスチックの出自を突き止める-

石油資源の節約や二酸化炭素の排出削減を実現するために、様々な製品にリサイクルプラスチックが使用されています。リサイクルプラスチックにリサイクル素材が偽りなく使われているかを証明するために、リサイクル素材の出自を追跡できるトレーサビリティが求められています。トレーサビリティを確保する技術として、特定の波長の光に対して蛍光を発するようにリサイクルプラスチックを着色する技術があります。しかし、偽りの着色を行うグリーンウォッシュ等の詐欺行為が横行しており、詐欺行為を防ぐことが社会的に求められています。



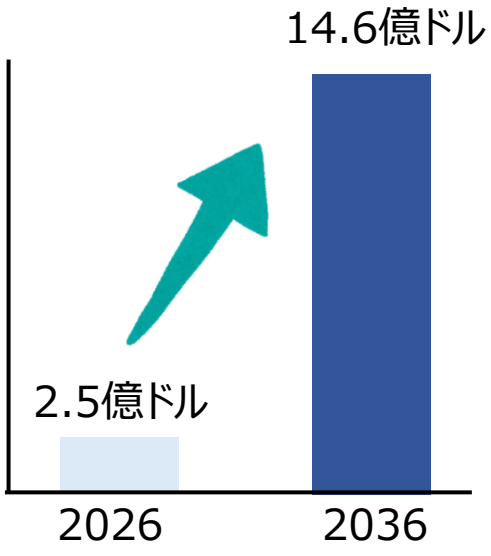
本技術による分類結果

NIMSは、リサイクルプラスチックを着色しなくても、加工工場等のリサイクルプラスチックの出自を高い確度で追跡できる技術を開発しました。着色が不要となるため、グリーンウォッシュ等の詐欺行為を抑制できると期待できます。更に、この技術ではリサイクルプラスチックに余計な添加剤等を添加する必要がなく、素のリサイクルプラスチックからその出自を特定できるため、リサイクルプラスチックの特性が変化することもありません。

本技術の実用化に向け、技術ライセンスの供与または共同研究をご検討頂けるパートナー企業を募集しております。本技術にご興味をお持ち頂けましたら、どうぞお気軽にお問合せ下さい。

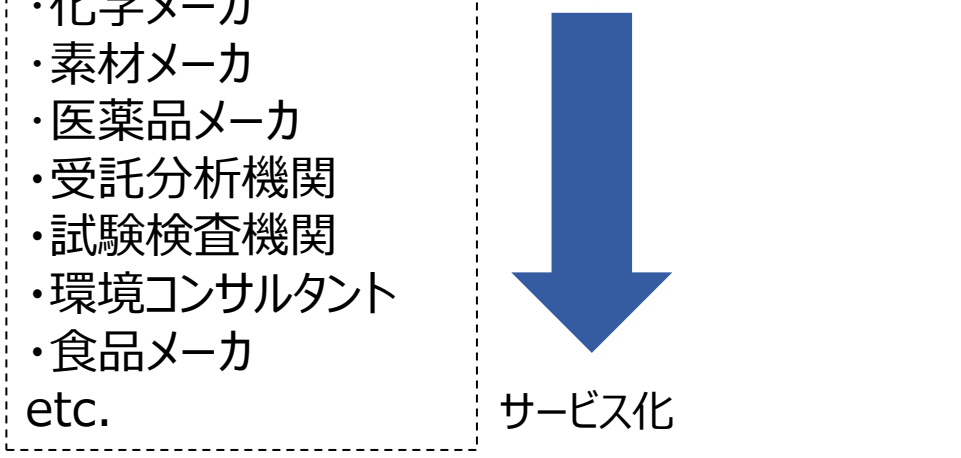
トレーサビリティ市場への技術参入をNIMSとともに！

トレーサビリティ市場規模の成長性

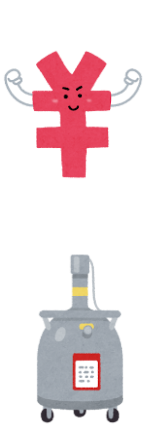


ACCESS newswireのウェブサイトより

連携フロー



貴社のメリット



技術的優位性の確立

新市場獲得

既存事業との親和性

国立研究開発法人
物質・材料研究機構
National Institute for Materials Science

・担当研究者：高分子・バイオ材料研究センター　吉川 元起　（研究者総覧SAMURAI）

・本技術に関するお問合せ：https://www.nims.go.jp/contact/collaboration.html